

平成28年11月13日執行

北杜市選挙管理委員会

北杜市長選挙公報



投票日

11月13日(日)

投票時間

午前7時から午後8時まで

(須玉第7・8・9投票区は午後7時まで)



・選挙当日は、入場券を持参し、投票所の係員に提出してください。
・入場券を万一紛失した時は、選挙当日投票所で係員へ申し出てください。
なお、その際には不正防止のため、係員が生年月日等をおたずねする場合がありますので、ご了承ください。

期日前投票

11月12日(土)まで

北杜市選挙管理委員会

市長候補

無所属 新人

46歳

かみむら えいじ 英司

西郷隆盛は、行動の「無私」を賞讃しました。「ムラ」の発展をこの私の心も許される「ムラ」でも市民を第1に、市政に対して無私の姿勢で臨みます。



若者の挑戦が未来を築く!!

必ず実現 8の未来

女性が働きやすい環境づくりを。

北杜の自然を次世代につなげます。

若者が住んでみたいまちづくりの推進。

長寿時代の「健康マイレージ制度」の導入。

「しがらみ」の無い公正・公平な市政の実現。

学びたいに応えた給付型奨学金制度の実施。

市観光協会と連携。八ヶ岳観光圏の推進。

学校給食費の無償化に向け、段階的に実施へ。



プロフィール

昭和45年 ●10月26日須玉町大豆生田に生まれる
須玉中・駿台甲府高校卒業
平成5年 ●慶應義塾大学商学部卒業
●サントリー(株)で8年間営業
平成12年 ●実家の(株)村高商店を15年経営
平成19年 ●(一社)基崎青年会議所理事長
平成24年 ●北杜市市議に初当選
◆尊敬する人 ●西郷隆盛
◆座右の銘 ●「敬天愛人」
◆特技 ●ワイン好きが高じて独学でワインアドバイザーの資格取得。ワイン講座などを開催しワインの魅力を広めています。ワイン醸造用のブドウも栽培し研究中!!

県下最年少の市長へ 世代交代!

若者が高齢者を、高齢者が若者を支える北杜を

かみむら英司 えいじ

昭和45年10月26日生まれ(46歳)

平成28年11月13日執行

北杜市長選挙公報

北杜市選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。)

子どもや孫たちに 「誇れるまちになったよ」 といえる北杜市に

今必要なことを、将来につながるように
市民といっしょに考えながら実行すれば
未来がみえるまちになる

しのはら 篠原ますが

気力と手腕をそなえた
頼れる人

明野村村長・北杜市市議会議員を歴任
facebook. も更新中
http://shinohara-masuga.jp/



無所属
しのはら
篠原ますが
昭和26年1月1日 (65歳)

あなたが参加 したくなる市政へ

市民が意見を出し合う
場として「市民会議(仮
称)」を設置し、それら
の意見を政策に反映す
るための仕組みを条例
化します。



ソーラー
(太陽光)
パネル
無秩序な設置を
抑制する
ルールづくり



農
収益性の高い
農業の導入と
担い手の支援



産業
育成
中小規模事業者や
起業への
積極的支援



子ども
支援
多面的な視点での
育ちの環境
づくり



交通
人もモノも
自由に活発に
行きかうまちに

市民一人ひとりが輝ける「愛でつながる北杜市」のために!

次世代を担う子ども達に夢や希望が持てる北杜市を

- 人づくり** 市民一人ひとりが自立し、挑戦する人づくりを目指します。次世代を担う子ども達の夢や希望を実現させるべく、幼児教育の充実と郷土愛あふれる人材育成をより充実し、併せて、生涯教育で市民同士が交流できる場を推進します。
- ◎心身ともに健やかな学習環境の充実
 - ◎奨学金・海外留学貸付金制度の創設
 - ◎郷土愛・人間的な人材育成の推進
 - ◎中学校統廃合計画の検証と再検討
 - ◎原っぱ塾、公営アカデミーの創設
 - ◎生涯スポーツの充実

子育て世代に優しい北杜市を

- 子育て** 25年後、市の子どもの数は現在の半数に、また高齢人口比率は市全体の48%に達するとみこまれ、市の存続も危ぶまれます。市ではこれまでも子育て世代に魅力あるまちづくりを進めてきましたが、少子化による人口減少には歯止めがかけられません。そこで、子育て世代が安心して子どもを産み、健やかに育てる環境をいま以上に推進してまいります。
- ◎子育て支援住宅の整備拡充
 - ◎市立病院の婦人科、小児科の充実
 - ◎妊娠、出産、育児と切れ目のない支援体制の構築
 - ◎各種保育サービスの充実
 - ◎子ども達との交流ができる遊び場の創出
 - ◎市民共同参加型子育て支援策の構築

優しさあふれ、健康で、元気に安心して暮らせる北杜市を

- 福祉・医療** 超高齢化社会が間もなくやってきます。市民一人ひとりが生きがいを感じ、安心して暮らせるまちづくりを進め、「住み続けたいまち」、「住んで良かったまち」を女性目線で推進します。
- ◎高齢者等への公共交通の充実
 - ◎在宅訪問診療サービスの充実
 - ◎JR長坂駅エレベーターの設置整備
 - ◎福祉ボランティア活動拠点の整備
 - ◎障がい者に優しい環境の整備
 - ◎生活必需品の宅配サービス制度の創出
 - ◎市立病院及び市立診療所へ先進医療の整備
 - ◎在宅介護者への負担軽減策の構築

地域資源を活用した活気あふれる北杜市を

- 産業・観光** 高齢化による耕作放棄地の解消はもとより、恵まれた気候、首都圏との立地を利用した農業の振興、若者が生まれ育った郷土で働ける場の確保や既存企業の発展のための支援を行い活気あふれる北杜市を目指していきます。
- ◎農畜産物に付加価値を高めたブランド化の推進
 - ◎新規就農者の育成と販路の確保
 - ◎就業促進住宅の整備拡充
 - ◎既存企業発展のための情報発信
 - ◎里山整備による景観保全の推進
 - ◎一体的な市内観光地づくりの確立
 - ◎若者、女性等への働き場所の確保
 - ◎市産食材を生かした滞在型観光地づくり
 - ◎集落営農組織の育成と法人化の強化
 - ◎体験型観光と6次産業の推進強化



まちが好き

ひとが好き

土が好き

中部横断自動車道(長坂~八千穂間)の早期完成

- インフラ** 長年の懸案である中部横断自動車道は中央自動車道の代替ルートや災害、物流、救急医療施設への緊急輸送路として地域住民の安全安心の確保に大きく寄与します。また、地域産業は首都圏、中部圏、近畿圏とも身近になり、特に観光面での集客が見込まれ、市の魅力でもある景観等の自然環境に最大限配慮した整備を進めてまいります。
- ◎救急医療施設への搬路の確保
 - ◎災害時活用道路の確保
 - ◎日本の台所の産地化
 - ◎三大都市圏への物流の促進
 - ◎ハイウェイオアシス整備による地元商品の販売



無所属
わたなへ
渡辺えいこ
昭和二十一年九月二十日 (70歳)